


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	妊婦健康診査事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 1 健康づくり		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	母子保健法		
目的	妊婦の健康管理を支援し、妊産婦及び乳幼児の死亡率低下、障害発生の予防を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	妊婦を対象として、14回分の妊婦健康診査を受診するための受診票を交付する。健康診査の内容は、基本項目（健康状態の把握、検査計測など）及び必要に応じて行う医学的検査（血液検査、超音波検査など）である。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	妊婦健康診査（1回から14回まで、子宮頸がん検診、超音波検査（1回から4回まで）及び新生児聴覚検査）の延べ受診者数	人
実績	5,197	5,457				
達成率	78%	77%				
2	—	—	目標	—	—	—
実績			—	—		
達成率			—	—		


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		28,919	30,742	43,936		平成29年第2回市議会定例会において、新生児聴覚検査費用の公費助成について要望があった。
財源内訳	一般財源	2,171	2,207	10,690		
	国都支出金	1,748	3,535	8,246		
	その他	25,000	25,000	25,000		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,539	1,567	1,717		
	所要人員（人）	0.20	0.20	0.20		
	会計年度任用職員（千円）	143	157	186		
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
合計（事業費+人件費）		30,601	32,466	45,839		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
居住する区市町村以外に所在する医療機関で健康診査が受けられるよう、毎年度、代表団体が東京都医師会と委託契約を締結している。 令和6年度の受診者数は、延べ5,457人であった。	妊娠届出数は予測が難しいため、目標と実績にかい離が生じている。 特に、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症や急速な少子化の影響もあり、妊娠届出数が減少している（令和元年度：484人、令和2年度：407人、令和3年度：394人、令和4年度：347人、令和5年度350人、令和6年度328人）。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
本事業は、母子保健法第13条に規定する健康診査であり、健康診査の内容は、「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準（平成27年厚生労働省告示第226号）」に定められており、本市の事業はこの基準に基づき実施している。 また、令和元年度から当該基準にない新生児聴覚検査費用の公費助成を実施しているが、当該検査は、聴覚異常を早期に発見することにより、専門の施設での適切な支援につなぐことができるため、今後とも継続する必要があると考える。 なお、令和7年10月から、妊婦歯科健康診査を個別化することにより、当該健康診査の受診率の向上を見込んでいる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	歯周疾患検診事業			
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 1 健康づくり			
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係	内線 212
	根拠法令等	健康増進法			
目的	歯を失う大きな原因となっている歯周病の予防と早期発見を推進し、高齢期において健康で快適な生活が送れるように支援する。			SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	対象者：20歳以上の市民 検診内容：問診、歯科健診、歯周ポケット測定、結果説明等（65歳以上の方には、口の乾燥状態、舌の動き、飲み込み等の検査も実施）				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	歯周疾患検診受診者数	人
			実績	460	452	
			達成率	102%	100%	
2	歯周疾患検診要精検者数	人	目標	—	—	—
			実績	349	346	
			達成率	—	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		3,100	3,951	4,145		歯科医師会から計画人員を増員してほしいという要望があった。
財源内訳	一般財源	2,011	2,713	2,762		
	国都支出金	737	853	1,383		
	その他	352	385	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,923	1,958	2,146		
	所要人員（人）	0.25	0.25	0.25		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		5,023	5,909	6,291		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●受診期間：令和6年6月1日～11月30日</li> <li>●対象者：40歳以上の市民（令和6年度中に40歳となる方を含む。）</li> <li>●検診内容：問診・歯科健診・歯周ポケット測定・結果説明等65歳以上の方には、口の乾燥状態、舌の動き、飲み込み等の検査</li> <li>●指定歯科医療機関：18歯科医療機関</li> <li>※市報、市ホームページのほか公共施設、医療機関等でポスターを掲示し、本事業を周知した。</li> </ul>	歯科医師会から計画人員を増員してほしいという要望が出されている。

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 歯周疾患検診は疾病の発見のみならず、検診の実施により自己管理能力高揚させ、実践へ結びつけることにより、豊かな高齢期を迎えることを目的としている。さらに、生活習慣の改善を行うことが発症予防及び重症化予防を進める上で重要であることから、今後、対象者の拡充に伴い、計画人員の増員を検討する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																			

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	若年健康診査事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 1 健康づくり		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	—		
目的	健診を受ける機会のない若年層の市民に対し、健康診査を実施し、生活習慣病等疾病の早期発見につなげることで、市民の健康の保持及び増進を図る。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	対象者：20歳から39歳までの市民で、勤務先や通学先等で健診機会のない方 健診項目：問診、身体計測、血液検査、尿検査等 実施場所：指定医療機関（武蔵村山市及び東大和市）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	若年健康診査受診者数	人
			実績	—	181	
			達成率	—	60%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	2,314	3,934	
財源内訳	一般財源	—	1,811	1,440	
	国都支出金	—	503	2,494	
	その他	—	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	470	515	
	所要人員（人）	0.00	0.06	0.06	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		0	2,784	4,449	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●受診期間：（前期）令和6年6月1日～7月31日（後期）令和7年1月6日～2月28日</li> <li>●対象者：20歳から39歳までの市民で他で健診を受ける機会がないかた（令和6年度中に20歳となる方を含む。）</li> <li>●検診内容：問診、身体計測、血液検査、尿検査等</li> <li>●指定医療機関：18医療機関</li> </ul> ※市報、市ホームページのほか公共施設、医療機関等でポスターを掲示し、本事業を周知した。	本事業は令和6年度から開始したものであり、本事業の定員300名としている。健診を受ける機会のない若年層の市民に対して、本事業の効果的な周知方法等を検討し、健康診査につながるようにする必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、健診を受ける機会のない若年層の市民を対象として、健康診査を実施することにより、生活習慣病等疾病の早期発見につなげることで、市民の健康の保持及び増進を図ることを目的として、令和6年度より事業を開始している。 事業実施初年度は定員300名に対して受診者数が満たしておらず、引き続き、ホームページやSNS等での周知を工夫しながら健康診査の受診へとつなげていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	がん患者ウィッグ等購入費助成事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 1 健康づくり		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	武蔵村山市がん患者ウィッグ等購入費助成金交付要綱		
	目的	がん治療、疾病等に伴う外見の変化をカバーするために補整具（アピアランスケア用品）を購入し、又はレンタルした者に対し購入費助成金を交付することにより、対象者の心理的及び経済的な負担を軽減を図る。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	交付対象経費：医療用ウィッグもしくは胸部補整具について、購入及びレンタルに係る経費助成対象経費：1回の申請につき、助成対象経費の実支出額と30,000円とを比較していずれか少ない額（その額に100円未満の端数が生じるときは、当該端数を切り捨てた額）			
対象（交付先）	がん治療に伴う脱毛、乳房の切除等により補整具を必要としているかた			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	交付人数（延べ）	人
			実績	—	24	
			達成率	—	80%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費			市民・議会等から寄せられた意見
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	
交付金額（千円）	0	701	1,000	—
一般財源	—	351	1,000	
国都支出金	—	350	0	
その他	—	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			他市等の状況 多摩26市中、本市を含めて21市で同様の取組を実施している。
所要人員（人）	0.00	0.01	0.01	
会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（補助金+人件費）	0	780	1,086	

収入	交付団体等の決算予算の状況			交付団体等の令和6年度の市補助金の使途	
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
総額（千円）	0	0	0	交付金額（千円）	701
市補助金	—	—	—	使途内訳	
会費	—	—	—		
繰越金	—	—	—		
事業収入	—	—	—		
その他	—	—	—		
支出	総額（千円）	0	0	割合（%）	
交際費、飲食費	—	—	—	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	—	—	—	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	—	—	—	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	—	—	—		

視点別の分析	内容	評価	
		必要である	見直しの余地がある
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
交付件数及び金額 延べ24件：701,400円	医療機関等と連携しながら、対象者へ事業の周知を図る。


今後の方針  
 拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

【今後の方向性】  
 本事業は、がん治療等による外見の変化の悩みを軽減し、就労継続や社会参加の促進は重要である。そのため、ウィッグや胸部補整具の購入費用等を助成することで経済的負担を軽減する必要がある。令和7年度からは、対象をがん以外の疾患へ拡大し、また、交付額の上限額を3万円から5万円へ増額して実施していく。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日診療等事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	医療法、東京都保健医療計画		
	目的	日曜、祝日、年末年始において症状に応じた適切な医療が受けられる体制を確保するため、入院を必要としない軽症患者に対する初期（一次）救急を実施することにより、市民が安心して治療が受けられるように努める。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	①休日診療：日曜、祝日、年末年始に実施（午前9時から午前11時30分まで、午後1時から午後4時まで） ②休日準夜診療：日曜、祝日に実施（午後5時30分から午後7時30分まで） 実施場所：①②ともに保健相談センター			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	休日急患診療受診者数	人
			実績	828	766	
			達成率	—	—	
2	休日準夜診療受診者数	人	目標	—	—	—
			実績	111	79	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	—		
事業費（千円）	24,247	24,933	24,541			
財源内訳	一般財源	18,899	19,510			
	国都支出金	5,348	5,423			
	その他	0	0			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	77	79			
	所要人員（人）	0.01	0.01			
	会計年度任用職員（千円）	0	0			
	所要人員（人）	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	24,324	25,012	24,627			

視点別の分析	内容	評価		
		必要である	見直しの余地がある	非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
発熱症状がある患者については、診療後必要に応じて抗原検査等を行った。年末年始については、インフルエンザ等の流行によって、受診者数が大幅に増となった。 休日急患診療受診者数：766人 休日準夜診療受診者数：79人	休日診療から休日準夜診療まで長時間診療を限られた数の医師で対応するため、負担が大きい。 しかし、休日準夜診療を廃止すると、急病患者が迅速に治療を受けることができないほか、入院を必要とする急病患者（一次救急）が、二次救急指定医療機関を受診することにより、入院を要する中等症及び重症の患者（二次救急）が医療機関で迅速な治療が受けられず、本来実施すべき二次救急診療を圧迫するおそれがある。


今後の方針			
成果	コスト		
	削減	維持	増加
	向上		
維持		○	
低下			

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

休日等において、急病患者が迅速に受診できる医療機関が必要であることから、事業の継続は必要となるが、休日準夜診療については、午後7時以降の受診者数の実績等を勘案した上で、診療時間の短縮を図る。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日歯科診療事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	医療法、東京都保健医療計画		
	目的	日曜、年末年始における急病患者に対し休日歯科診療を実施することにより、市民が安心して治療が受けられるようにすることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	休日歯科診療：日曜、年末年始に実施（午前9時から午前11時30分まで、午後1時から午後4時まで） 実施場所：歯科医師会加入の医療機関1か所（持ち回りによる輪番制）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	休日歯科診療受診者数	人
			実績	160	192	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		8,031	7,929	8,031	
財源内訳	一般財源	6,269	6,174	6,452	
	国都支出金	1,762	1,755	1,579	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	77	79	86	
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		8,108	8,008	8,117	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
日曜、年末年始に休日歯科診療を歯科医師会加入の医療機関1か所持ち回りによる輪番制で実施した。 休日歯科診療受診者数：192人	休日歯科診療受診者数は横ばいであるが、日曜、年末年始に休日歯科診療を廃止すると、急病患者が迅速に治療を受けることができない。平成22年度から平成24年度にかけて、休日歯科診療体制の見直し等を行い、輪番制の導入や経費の削減を行っている。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 休日において、急病患者が迅速に受診できる歯科医療機関が必要であることから、現状の体制を継続して実施していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	公的病院等運営費補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	武蔵村山市公的病院等運営費補助金交付要綱		
	目的	救急医療を実施している公的病院等に対して、運営費の一部を補助することにより、救急医療の確保及び地域医療の充実を図る。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	特別交付税に関する省令の規定により算定された額（救急告示病院としての病床数、小児救急医療、小児医療のための病床数）を基準とし、予算の範囲内において運営費の一部を補助する。			
対象（交付先）	社会医療法人財団大和会武蔵村山病院			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	救急医療を要する傷病者のための専用病床数	床
			実績	30	30	
			達成率	—	—	
2	小児医療のための専用病床数	床	目標	—	—	—
			実績	24	24	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
交付金額（千円）	53,194	53,194	52,739		—
一般財源	31,065	53,194	52,739		
国都支出金	0	0	0		
その他	22,129	0	0		
人件費	154	157	172		他市等の状況 近隣市においても公的病院に対して運営費の補助を行っている。
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0.02	0.02	0.02		
所要人員（人）	0	0	0		
会計年度任用職員（千円）	0.00	0.00	0.00		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	53,348	53,351	52,911		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和6年度の市補助金の使途
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 53,194
市補助金	—	—	—		使途内訳
会費	—	—	—		
繰越金	—	—	—		
事業収入	—	—	—		
その他	—	—	—		
支出	総額（千円）	0	0	0	
交際費、飲食費	—	—	—		割合（%）
人件費	—	—	—		
事業経費	—	—	—		
その他	—	—	—		
	団体収入に占める補助金の割合	—			
	団体収入に占める繰越金の割合	—			
	交付金額に対する繰越金の割合	—			

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
武蔵村山病院において、救急医療の確保及び地域医療の充実を図るため、小児救急診療事業及び救急医療事業を実施した。	特別交付税に関する省令に基づく不採算地区公的病院等に対して、運営費の一部を補助するものであるが、各種感染症の増加や人材不足等により病院の負担は大きくなっている。


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

市民の小児救急及び救急医療の需要に対応し、市民の生命及び健康を守る必要があることから、今後も継続して病院の運営費を補助していく。  
また、令和5年度における行政評価委員会による外部評価を踏まえ、今後とも、病床の稼働率等の実績把握に努め、救急医療の確保が図られていることを適宜確認していく。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	レセプト自動点検事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民 部	保険年金 課	医療費適正化 係 内線 138
	根拠法令等	「国民健康保険の診療報酬明細書点検事務調査事務処理要領について」（昭55.5.10保険発第42号）		
	目的	診療報酬明細書等（以下、「レセプト」という。）の点検業務を実施することにより適正な療養給付費の支出を維持するとともに、医療費の適正化及び国民健康保健事業の健全化を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	レセプトの点検業務について、職務経験や専門知識の有無にかかわらず実施可能となる人工知能（AI）を搭載したレセプト自動点検システム及びRPAツールを利用し、業務精度の向上及び効率的な点検を実施する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	財政効果額	円	目標	1,630	1,700	1,586
				実績	1,740	376	
達成率				107%	22%		
2	-	-	目標	-	-	-	
			実績	-	-		
			達成率	-	-		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算			
事業費（千円）	562	804	1,064	-		
財源内訳						
一般財源	562	804	1,064			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,077	2,115	2,317			
所要人員（人）	0.27	0.27	0.27			
会計年度任用職員（千円）	328	360	428			
所要人員（人）	0.23	0.23	0.23			
合計（事業費+人件費）	2,967	3,279	3,809			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
【点検件数】230,176件（月平均19,181件） 【費用】3.3円/件 RPA使用料（年間）44,550円 ※令和6年度から東京都の資格点検及び内容点検の対象となる項目に変更があり、レセプト自動点検（内容点検）の対象となる項目が減となったことから、レセプト自動点検の財政効果額実績が減となった。	限られた人員により効果的かつ効率的にレセプトデータを点検するために、令和2年度からAI及びRPAを活用した自動点検を実施している。 導入により短時間で効果的な点検業務を実施することが可能となり、費用についても抑えられている。 しかし、令和6年度から財政効果額の該当項目に変更があり、レセプト自動点検で今までと同様の効果を上げるのは困難である。今後、疑義のあるレセプトの効果的な抽出方法を模索する必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し																					
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
医療機関からの診療報酬（医療費）等の請求はレセプトにより行われ、東京都国民健康保険団体連合会の審査委員会の審査を経て、支払の根拠として保険者に送付される。 診療報酬等の支払の適正化を図るために審査委員会で審査済みのレセプトについて、再度点検及び確認を行うことは保険者の責務となっている。 しかし、レセプトの点検は専門的な知識を必要とすることから、職員が行うことは困難であり、従来からその業務については委託し、点検員の目視による点検を実施してきたところではあるが、目視では一度に点検できる枚数に限界があることから、令和2年度からAI及びRPAを活用した自動点検システムを利用することによって、職務経験や専門知識の有無にかかわらず短時間で効果的な点検が実施できている。 今後においても引き続き当該システムによる点検を実施し、医療費の適正化を図る。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																								

事務事業の概要

事務事業の実施状況

所管課の評価

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	医療費適正化事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度				
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係	内線	138
	根拠法令等	国民健康保険法				
	目的	健康課題に基づく個別の保健事業を推進することで、国民健康保険被保険者の健康増進、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病の発症や重症化予防等を図ることを目的とする。			SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	本市の健康課題に対応した個別の保健事業として、生活習慣病治療中断者受診勧奨事業、糖尿病性腎症重症化予防・受診行動適正化事業、ジェネリック医薬品利用促進事業、COPD（慢性閉塞性肺疾患）早期発見啓発事業、骨粗しょう症治療中断者受診勧奨事業等の事業を実施する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	健康寿命（男性/女性） ＝平均自立期間	歳	目標	79.7 83.5	80.0 84.2
			実績	79.9 84.6	79.7 84.7	
			達成率	100% 101%	100% 101%	
2	1人当たり医療費（月額）	円	目標	20,953	27,410	26,587
			実績	27,786	30,312	
			達成率	-33%	-11%	

事業経費	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）	16,185	16,185	16,185
財源内訳			
一般財源	0	0	0
国都支出金	14,470	14,458	14,458
その他	1,715	1,727	1,727
人件費			
会計年度任用職員以外の職員（千円）	16,923	17,229	18,878
所要人員（人）	2.20	2.20	2.20
会計年度任用職員（千円）	0	0	0
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）	33,108	33,414	35,063


市民・議会等から寄せられた意見	
令和4年第3回市議会定例会において、「医療費削減に向け糖尿病腎症から人工透析への移行を食い止める施策として進めていただきたい。」との要望があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>【実施した主な保健事業の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健診異常値受診勧奨事業 勧奨通知送付数：61通/保健指導実施者数：17人</li> <li>●生活習慣病治療中断者受診勧奨事業 勧奨通知送付数：58通/保健指導実施者数：13人</li> <li>●糖尿病性腎症重症化予防 勧奨通知送付数：152通/保健指導実施者数：4人</li> <li>●ジェネリック医薬品利用促進事業 通知件数：636通/（年4回発送）</li> <li>●COPD（慢性閉塞性肺疾患）早期発見啓発事業 勧奨通知送付数：251通</li> <li>●受診行動適正化保健指導事業 勧奨通知送付数：70通/保健指導実施者数：2人</li> <li>●骨粗しょう症治療中断者受診勧奨事業 通知送付数：29通</li> </ul>	<p>委託事業者を活用して実施しているが、個別の保健事業における保健指導等において参加者をフォローするには、本市の資源を活用できる市職員（専門職）の関与が重要であるが、令和6年度は人員の確保ができていない。</p> <p>また、各事業の計画、対象者の抽出、事業の実施・進行管理、事業の効果分析等に当たり国や東京都からの要求が年々増えている。</p>

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																			
<p>本事業は、武蔵村山市国民健康保険第三期データヘルス計画に掲げる「健康寿命の延伸と医療費の適正化」を達成するため、健康課題に対応した個別の保健事業を実施し、生活習慣病の重症化等を予防することにより、将来的な医療費の適正化を図るものである。国民健康保険制度の安定的な財政運営を維持させるためにも重要である。</p> <p>また、保健事業の推進に当たっては、PDCAサイクルを用いることで本市の実情に合わせた既存事業の拡充や新規事業の実施を図るなど、将来を見据えた事業推進により目標を達成するよう努めている。具体的には、個別の保健事業について、毎年度、4つの評価指標を用いて計画、実施、評価を行っており、東京都や国民健康保険団体連合会等の第三者による事業評価も活用しながら効果的かつ効率的に実施するよう努めていく。</p>																			
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト			削減	維持	増加	向上	○		維持			低下		
	今後の方針																		
	コスト																		
削減	維持	増加																	
向上	○																		
維持																			
低下																			
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																			

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	特定健康診査未受診者受診勧奨事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度				
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係	内線	138
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律				
目的	国民健康保険被保険者が自らの健康リスクを把握し、生活習慣病の発症及び重症化を予防する契機となる特定健康診査の受診者を増やすため、受診勧奨を実施する。				SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	効果的に受診へと導くために、人工知能やナッジ理論を用いた通知による受診勧奨を実施する。また、医療機関や保険薬局等へのポスター掲示や大型商業施設へのデジタルサイネージ広告、保健師による電話勧奨などの効果的な取組等を積み重ねて周知を図る。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	特定健康診査受診率	%	目標	60.0	52.0	54.0
				実績	49.2	46.0	
達成率				82%	88%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	0	0			
国都支出金	5,330	5,769	5,817			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,539	1,567	1,717			
所要人員(人)	0.20	0.20	0.20			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	6,869	7,336	7,534			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●受診勧奨通知【1回目】令和6年6月25日【2回目】令和6年8月27日</li> <li>●勧奨通知後に受診した人数：1,250人</li> <li>●はがきによる受診勧奨：令和6年8月初回受診である40歳：200人</li> <li>●受診率の低い地域：中原・三ツ藤地区</li> <li>●通知後受診：124人</li> <li>●その他、医療機関、保険薬局、公共施設へのポスター掲示、大型商業施設のデジタルサイネージ広告、SMSを活用した受診勧奨を実施した。</li> </ul>	<p>特定健康診査は生活習慣病の予防、早期発見の要となるものである。自覚症状なく進行することの多い生活習慣病を抑制するため、健診受診者を増やすことは急務である。そのため、受診勧奨については、委託業者に加え、保険年金課、健康推進課でも実施しているが、受診率は伸び悩み、目標値を達成できない状況が続いている。</p>

今後の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>特定健康診査の受診者と未受診者で比較すると、未受診者の方が医療費が高額となっており、特に入院費が高額となっている。これは、生活習慣病が重症化してから医療機関を受診するためと推測されることから、生活習慣病の早期発見、早期治療に繋げるためにも受診率の向上は急務となっている。</p> <p>委託事業者による人工知能やナッジ理論を活用した効果的な受診勧奨に加え、令和3年度から実施している不定期受診者と健診未受診者への「コール・リコール」を継続させる。</p> <p>また、特に受診率の低い地域や年齢層へのはがきによる勧奨、ポスター掲示、大型商業施設でのデジタルサイネージ広告、SMS発信、保健師による電話勧奨、健康づくり相談会での受診勧奨も引き続き取り組んでいく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	人間ドック等助成事業（国民健康保険）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係 内線 138
	根拠法令等	武蔵村山市国民健康保険・後期高齢者医療保険人間ドック等受診料助成金交付要綱		
	目的	国民健康保険被保険者が人間ドック又は脳ドックを受診した場合、その費用の一部を助成することにより、疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康の保持増進を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	①特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準第1条第1項第1号から第9号までに規定する項目全てを含む場合 支払額の1/2（上限2万円） ②脳ドック受診 支払額の1/2（上限1.5万円）			
対象（交付先）	国民健康保険被保険者（40歳以上を対象）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	特定健康診査の受診率向上につながった受診者数（平成29年度比）の割合	%
			実績	3.2	—	—
			達成率	16%	—	—
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—

事業経費				令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
補助金	交付金額（千円）	3,264	3,264	3,264	3,537	3,537	3,537	4,000	4,000	4,000	4,000	
	一般財源	3,264	3,264	3,264	3,537	3,537	3,537	4,000	4,000	4,000	4,000	
	国都支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,539	1,539	1,539	1,567	1,567	1,567	1,717	1,717	1,717	1,717	
	所要人員（人）	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	会計年度任用職員（千円）	285	285	285	313	313	313	372	372	372	372	
	所要人員（人）	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
合計（補助金+人件費）		5,088	5,088	5,088	5,417	5,417	5,417	6,089	6,089	6,089	6,089	

**市民・議会等から寄せられた意見**  
市民から助成要件が分かりづらい、助成金の申請時に助成される金額が分からないとの意見があり、補助要綱の一部改正を行い、令和6年度の助成から運用した。

**他市等の状況**  
人間ドック助成：14自治体実施  
脳ドック助成：9自治体実施  
婦人科ドック助成：1自治体実施  
（いずれも令和2年度現在、26市中本市を除く。）

交付団体等の決算予算の状況				令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
収入	総額（千円）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市補助金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	会費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	繰越金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	事業収入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
支出	総額（千円）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	交際費、飲食費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	人件費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	事業経費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

**交付団体等の令和6年度の市補助金の使途**

交付金額（千円）	3,537
使途内訳	
割合（%）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—


視点別の分析	内容	評価		備考
		達成状況	今後の見込み	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	
類似の補助金との統合は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
●人間ドック助成 175件：3,376,000円		●脳ドック 11件：161,000円	本補助制度の利用者のうち、60歳以上の者が8割超となっており、特定健康診査と同様に若年層の取り込みが課題となっている。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康を保持増進する事業として有効であるため、令和7年度も引き続き実施する。																								
令和6年度から補助要綱の審査要件等の一部改正を行い、被保険者に分かりやすい補助要件とした。																								
【審査要件】 特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準第1条第1項第1号から第9号までに規定する項目及び脳ドック																								
【補助金額】 医療機関に支払った金額の1/2と2万円（脳ドックは1.5万円）を比較し安い金額																								
なお、本補助において実施した検査項目により特定健康診査を受診したとみなすため、その受診率向上にも寄与しているところである。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="2">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		今後の方針			成果	コスト		削減	維持	増加	向上		○		維持				低下			
今後の方針																								
成果	コスト																							
	削減	維持	増加																					
向上		○																						
維持																								
低下																								

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	人間ドック等助成事業（後期高齢者医療）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	後期・年金係 内線 135
	根拠法令等	武蔵村山市国民健康保険・後期高齢者医療保険人間ドック等受診料助成金交付要綱		
	目的	後期高齢者医療被保険者に対して、人間ドック又は脳ドックの受診費用の一部を助成することにより、疾病の早期発見及び予防に寄与し健康の保持増進を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	①特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準第1条第1項第1号から第9号までに規定する項目全てを含む場合 支払額の1/2を助成（上限2万円） ②脳ドック受診 支払額の1/2を助成（上限1.5万円）			
対象（交付先）	後期高齢者医療被保険者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	受診者数	人
			実績	55	77	
			達成率	110%	154%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

事業経費				令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
補助金	交付金額（千円）	988	1,434	1,000	市民・議会等から寄せられた意見							
	一般財源	739	999	689	市民から助成要件が分かりづらい、助成金の申請時に助成される金額が分からないとの意見があり、補助要綱の一部改正を行い、令和6年度の助成から運用した。							
	国都支出金	0	0	0	他市等の状況							
	その他	249	435	311	26市中14市が実施している（令和4年度現在）。							
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	77	79	86	交付団体等の令和6年度の市補助金の使途							
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	交付金額（千円）							
	会計年度任用職員（千円）	414	454	539	1,434							
	所要人員（人）	0.29	0.29	0.29	使途内訳							
合計（補助金+人件費）				1,479	1,967	1,625	割合（％）					
							団体収入に占める補助金の割合					
							—					
							団体収入に占める繰越金の割合					
							—					
							交付金額に対する繰越金の割合					
							—					

交付団体等の決算予算の状況				令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
収入	総額（千円）	0	0	0	収入	
	市補助金	-	-	-	市補助金	
	会費	-	-	-	会費	
	繰越金	-	-	-	繰越金	
	事業収入	-	-	-	事業収入	
支出	総額（千円）	0	0	0	支出	
	交際費、飲食費	-	-	-	交際費、飲食費	
	人件費	-	-	-	人件費	
	事業経費	-	-	-	事業経費	
	その他	-	-	-	その他	


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和6年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
●人間ドック	70件：1,326,000円（内訳：1万円助成6人、1.5万円助成1人、1.7万円助成2人、1.8万円助成1人、1.9万円助成1人、2万円助成59人）	●脳ドック	7件：108,000円（内訳：1万円助成1人、1.3万円助成1人、1.5万円3人、2万円助成2人）
		一般財源からの支出が大きいのが、市民への有益な事業であるため、今後交付額をどこまで増額していくのか、国民健康保険との調整が課題である。	

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
後期高齢者医療の申請分が増加しているところであるが、当該事業は疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康を保持増進する事業として有効であるため、令和7年度も引き続き助成を実施する。			
今まで被保険者から助成要件が分かりにくい、助成申請時に助成金額が分からない等の意見が多く寄せられていた審査項目について補助要綱の一部改正し、被保険者に分かりやすい要綱として令和6年度から運用している。			
なお、本助成において実施した検査項目により健康診査を実施したとみなすため、その受診率向上にも寄与しているところである。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
	向上	○	
維持			
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（企画調整 ハイリスクアプローチ）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	後期・年金係 内線 138
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律		
目的	複数の疾患及びフレイル状態に陥りやすい高齢者に対し、高齢者一人一人の状況に応じたきめ細かな対応を効果的かつ効率的に行うため、東京都後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）と市が連携し、介護保険の地域支援事業及び国民健康保険の保健事業を一体的に実施することにより、健康寿命の延伸を図る。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	保険年金課では、ハイリスクアプローチ（個別的支援）として、糖尿病性腎症及び糖尿病の後期高齢者を対象に、かかりつけ医等の医療機関と連携し、糖尿病性腎症等の重症化予防に必要な保健指導及び医療機関への受診勧奨を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	保健指導実施者数（目標値は参加申込者数）	人
			実績	14	11	
			達成率	100%	100%	
2	未治療者への医療機関受診勧奨架電実施者数（目標値は参加者数）	人	目標	2	1	3
			実績	2	1	
			達成率	100%	100%	

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		3,083	3,314	7,462	
財源内訳	一般財源	0	0	0	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	3,083	3,314	7,462	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	11,000	11,199	12,271	
	所要人員（人）	1.43	1.43	1.43	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		14,083	14,513	19,733	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当


令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
【保健指導】 日常生活圏域全4圏域において実施し、勧奨通知を100人に発送後、架電勧奨を行い11人に保健指導を実施した。 【医療機関未治療者への受診勧奨】 受診勧奨通知を1人に発送し、架電による保健指導を1人に実施した（架電率100%）。 【医療機関治療中断者への受診勧奨】 受診勧奨通知を2人に発送した（受診勧奨実施率100%）。 【令和5年度保健指導参加者への継続支援】 継続支援の案内通知を発送後、7人に保健指導を実施した。	糖尿病性腎症等重症化予防事業について、本市の日常生活圏域全4圏域から参加者を募り、圏域・年齢・性別等偏ることなく参加者を確保することができた。しかし、令和6年度参加率は11.0%で令和5年度実績（11.8%）と比較して低かった。今後、自主的な参加者を確保するよう参加勧奨架電時のトークスクリプトや案内チラシを工夫改善して実施していきたい。 また、今後も対象者が参加しやすいよう、分かりやすい通知内容や安心して参加できる勧奨方法について検討していく。

今後の方針																				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本市の健康課題については、医療専門職が分析しており、その課題に対するハイリスクアプローチを保険年金課が、ポピュレーションアプローチを高齢福祉課及び健康推進課が担い取組を行っており、3課での密接な連携体制が必要である。加えて市内の三師会及び介護保険関係機関（地域包括支援センター、社会福祉法人、NPO法人等）との連携を図る必要があり、引き続き3課で対応する。 糖尿病性腎症等重症化予防事業について、参加者を確保するため、委託業者と連携を図り、一人一人に寄り添ったきめ細かな保健指導を実施し、高齢者の健康寿命の延伸を図る。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> （廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持				低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		○																		
維持																				
低下																				

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（企画調整 ハイリスクアプローチ）	
所管部署		市民部 保険年金課 後期・年金係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・市民との協働により事業を実施しているか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・受益者負担は適切か</li> <li>・施策への貢献度は適切か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託等は可能か</li> <li>・事業費の更なる削減は可能か</li> <li>・類似事業等との統合は可能か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、糖尿病性腎症及び糖尿病の後期高齢者に対し、個別的支援（ハイリスクアプローチ）として医療機関と連携して保健指導や受診勧奨を行うことで、糖尿病性腎症等の重症化を予防し健康寿命の延伸を図ることを目的としており、その意義が認められる。また、保健指導によって糖尿病性腎症等重症化予防プログラム参加者の重症化を遅らせる一定の効果が認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、参加勧奨者数約100名に対し保健指導参加者数は約10名と少ないため改善の余地がある。改善策として、通知文の内容を工夫するほか、敬老会などの機会を活用した効果的な情報提供、インセンティブの付与などによる参加意欲向上策を検討するなど、不参加の理由を把握した上で必要に応じて医療機関等での適切な指導につなげていく必要があると思料する。</p> <p>また、健康診査未受診者の中には糖尿病性腎症及び糖尿病の後期高齢者が潜在していると考えられることから、健康診査の受診率向上を目指すという所管課の意見に当委員会として異論はない。</p> <p>さらに、後期高齢者医療保険適用の前後で一貫して保健事業を受けられるよう、必要に応じて運用方法の見直しを検討することが望ましい。</p>		

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（ポピュレーションアプローチ）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針		
	目的	高齢者が自らの健康状態に関心を持ち、介護予防・フレイル予防の重要性を理解することで、住み慣れた地域で、持続的に自立した生活を営みながら、継続的に社会参加のできる地域づくりを行い、もって健康寿命の延伸を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	「通いの場等の参加者に対する集団支援（ポピュレーションアプローチ）」に係る事業として、計16か所の通いの場等において、口腔と栄養に係る一体的な健康教室・相談事業（歯つらつ教室事業）、フレイルチェック会事業、個別相談支援事業等を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	初回から終了までの継続参加者の割合	%	目標	100	100	100
				実績	62	60	
達成率				62%	60%		
2	利用者の口腔機能の自己評価にて、事業の前後で口腔機能低下の危険性が高いと判定された人数の割合の減少値	%	目標	10	10	10	
			実績	8	6		
			達成率	80%	60%		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		482	3,016	4,090
財源内訳	一般財源	0	0	0
	国都支出金	0	0	0
	その他	482	3,016	4,090
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,985	431	538
	所要人員（人）	0.26	0.05	0.06
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		2,467	3,447	4,628


市民・議会等から寄せられた意見	
当該事業の事後評価を行う会議において、構成員の歯科医師及び歯科衛生士より、「より事業を広く展開していくことに意義がある」との意見や、「男性の参加率が低いことが課題である」との指摘があった。また、今後について、歯周病検診などの検診結果を踏まえた評価を行っていくよう要望があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
本事業について、令和6年度より武蔵村山市歯科医師会に委託し、職員体制の確保及び継続的な事業運営の担保を図った。令和6年度中に16か所の通いの場で実施予定であったが、実際は12か所での実施となった。12か所の通いの場において、歯科衛生士による集団指導や口腔機能の測定を実施するとともに、オーラルフレイル予防の重要性に関する普及啓発を行った。	通いの場で本事業の取組（歯つらつ教室事業の口腔機能の測定、講話を含め複数回）を実施することにより、通いの場の本来の活動にかかる時間を圧迫してしまう場合がある。また、事業開始から3年目を迎え、既に本事業の取組が実施された通いの場が増えてきていることから、新たに事業を実施する通いの場の確保が課題となっている。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
本事業は、高齢者の介護予防や幅広い世代の交流の場として地域に設置された「お互いさまサロン」を主な通いの場として捉え、取組を実施してきたが、通いの場の本来の活動を阻害してしまう場合があることから、今後、歯つらつ教室事業の実施回数及び手順の見直しを図る。また、お互いさまサロンだけでなく、対象とする通いの場の基準を広く捉え、多様な通いの場で実施できるように改善していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（ポピュレーションアプローチ）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針		
目的	高齢者が自らの健康状態に関心を持ち、介護予防・フレイル予防の重要性を理解することで、住み慣れた地域で、持続的に自立した生活を営みながら、継続的に社会参加のできる地域づくりを行い、もって健康寿命の延伸を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	「通いの場等の参加者に対する集団支援（ポピュレーションアプローチ）」に係る事業として、計16か所の通いの場において、口腔と栄養に係る一体的な健康教室・相談事業（歯つらつ教室事業）、フレイルチェック会事業、個別相談支援事業等を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	初回から終了までの継続参加者の割合	%	目標	100	100	100
				実績	62	60	
達成率				62%	60%		
2	利用者の口腔機能の自己評価にて、事業の前後で口腔機能低下の危険性が高いと判定された人数の割合の減少値	%	目標	10	10	10	
			実績	8	6		
			達成率	80%	60%		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,000	2,350	258
	所要人員（人）	0.26	0.30	0.03
	会計年度任用職員（千円）	855	0	0
	所要人員（人）	0.60	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		2,855	2,350	258

市民・議会等から寄せられた意見	
当該事業の事後評価を行う会議において、構成員の歯科医師及び歯科衛生士より、「より事業を広く展開していくことに意義がある」との意見や、「男性の参加率が低いことが課題である」との指摘があった。また、今後について、歯周病検診などの検診結果を踏まえた評価を行っていくよう要望があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
本事業について、令和6年度より武蔵村山市歯科医師会に委託し、職員体制の確保及び継続的な事業運営の担保を図った。令和6年度中に16か所の通いの場で実施予定であったが、実際は12か所での実施となった。12か所の通いの場において、歯科衛生士による集団指導や口腔機能の測定を実施するとともに、オーラルフレイル予防の重要性に関する普及啓発を行った。	通いの場で本事業の取組（歯つらつ教室事業の口腔機能の測定、講話を含め複数回）を実施することにより、通いの場の本来の活動にかかる時間を圧迫してしまう場合がある。また、事業開始から3年目を迎え、既に本事業の取組が実施された通いの場が増えてきていることから、新たに事業を実施する通いの場の確保が課題となっている。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
本事業は、高齢者の介護予防や幅広い世代の交流の場として地域に設置された「お互いさまサロン」を主な通いの場として捉え、取組を実施してきたが、通いの場の本来の活動を阻害してしまう場合があることから、今後、歯つらつ教室事業の実施回数及び手順の見直しを図る。また、お互いさまサロンだけでなく、対象とする通いの場の基準を広く捉え、多様な通いの場で実施できるように改善していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
	今後の方針		コスト																					
			削減	維持	増加																			
	成果	向上		○																				
維持																								
低下																								
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（ポピュレーションアプローチ）	
所管部署		健康福祉部 高齢福祉課 地域包括ケア係 健康福祉部 健康推進課 健康推進係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・市民との協働により事業を実施しているか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・受益者負担は適切か</li> <li>・施策への貢献度は適切か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託等は可能か</li> <li>・事業費の更なる削減は可能か</li> <li>・類似事業等との統合は可能か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>「生きがづくり」や「仲間づくり」の輪を広げる場所（通いの場）を地域の介護予防の拠点としていくことは、集団支援（ポピュレーションアプローチ）として近年注目されている。</p> <p>本事業は、お互いさまサロンなどの通いの場へ専門職を派遣して口腔と栄養に係る一体的な健康教室・相談事業「歯つらつ教室」等を行うことで、本市の高齢者の健康課題である口腔機能の低下を予防し健康寿命の延伸を図ることを目的としており、その意義が認められる。また、教室参加者に対する口腔機能の測定結果からは口腔機能の向上が確認されており、今後も継続することが適当である。</p> <p>また、これまで事業の中心となってきたお互いさまサロンでの実施はほぼ一巡しているため、所管課の意見のとおり、通いの場の基準を見直し、集団支援の場を増やすことに当委員会として異論はない。加えて、通いの場の本来の活動が制限されるため参加団体の協力を得ることが難しい実態があるが、本事業の実施効果を測定するため改めて事前・事後の効果検証を実施することで、より効果的な事業へと発展させることを期待したい。</p> <p>なお、高齢者のオーラルフレイルに対する関心を高め予防していくためには、通いの場を通じた集団支援以外の方策も効果的であり、広範なアプローチも必要だと思料する。具体的には男性の参加率が低い現状や参加に対する心理的抵抗感を考慮した上で、民間企業等との連携を含めた新たな意識啓発や普及啓発の場の創出を目指すことが望ましい。</p> <p>さらに、歯科医師会等の協力のもと、診療所や定期健診等の場において気軽にオーラルフレイルチェックが実施できる仕組みを構築することも有効だと思料する。</p>		